

No.	分類	意見の概要	本市の考え方
1	事業期間	<p>今回の計画、事業期間が令和5年3月31日までになっていて、スケジュールにかなりタイトだと思う。</p> <p>①まずは、期限内で終わるための体制(チェック機能)は大丈夫か。</p> <p>②万一、スケジュールが令和6年度に繰り越した場合、国からの財源はどうか。</p>	<p>本事業への国の支援については、国の令和3年度補正予算措置されたものであり、令和4年度中に事業を実施する必要があります。</p> <p>①本事業におきましては、各分野に関係する団体等と市(事務局)とで組織するコンソーシアムを推進主体として事業を実施することとしています。また、今後、当該事業に係る補正予算成立後に、各サービスを構築する事業者と併せて全体プロジェクト管理事業者を選定する予定としており、事業実施に当たっては、コンソーシアムと連携し、その都度進捗状況等を確認しながら事業を実施していくこととしています。</p> <p>②万一繰り越すこととなった場合の国の対応については不明ですが、それは、国が基本的に今年度中に事業を実施することを求めているからであり、市としても繰り越すことのないよう、しっかりと事業を進めていく考えであります。</p>
2	予算	<p>今回の予算は今年度のものと思います。令和5年度以降の運用やシステム費用はどう考えておられますか？</p>	<p>今回意見募集を行いましたのは、今年度の事業・予算についてであります。</p> <p>本事業につきましては、今後、当該事業に係る補正予算成立後に委託事業者をプロポーザル形式で選定する際に、各応募事業者から令和5年度以降のランニングコストも含めて提案していただき、その金額等も含めて最適な事業者を選定する考えであります。</p> <p>そのため、今後、令和5年度以降のランニングコストが公表できる状況になりましたら、適宜公表していきたいと考えております。</p>
3	目標値	<p>資料の中に「このプロジェクトが目指している目標」があり、令和5年度末と令和7年度末の基準の数値の根拠は？</p>	<p>本事業の成果を複数年にわたって計測するため、導入初年度末は、現状や導入後に想定される数値を設定しており、目標については、本事業を3か年継続した場合の目標値を設定しています。</p> <p>【目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人の健康データ入力アプリの登録者数」については、今年度、別事業で構築するポータルアプリの登録目標者数(人口の20%)や本市における年間救急搬送件数約6,000件×3年間=約18,000件を踏まえて、20,000人の登録者数を目指しています。</li> <li>・「個人の健康データ入力アプリの利用者のうち、健康に関する意識が向上したと回答した割合」については、導入初年度末はその普及・啓発を含めて20%程度を想定しており、目標については、令和2年度に実施した「健康長寿の取組」アンケートにおける「健康に気をつけて行動していますか？」項目にはいと回答した割合(70%)と同程度を目標としています。</li> </ul> <p>【目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「救命救急搬送時における医療情報共有コミュニケーションサービスの利用率」については、本システムを全ての救命救急搬送時に利用することが、効果的な支援体制の構築につながるものと考えているため、100%の利用率を目指しています。</li> <li>・「医療体制への負担軽減が改善したと回答した割合」については、今回、病院や救急隊員のほぼ全ての方が改善効果を得られるシステム構築を目指しているため、90%を目標としております。</li> </ul> <p>【目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心筋梗塞患者のカテーテル治療までの時間短縮」及び「脳血管患者の薬剤投与(tPA療法)までの時間短縮」は、初年度の数値については、救急要請を受けてから病院での医療処置までにかかる現在の平均所要時間を記しており、今後の目標については、今回のシステムを導入することで、救急モビリティの搬送先病院の選定・搬送ルート最適化、また、事前に病院等に患者情報を伝達することによる処置に必要な事前準備による時間短縮などについて、類似の他のシステムのこれまでの実績や救急隊、医師等の意見を踏まえて設定しています。</li> </ul> <p>【目標4】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス地域の拡大については、導入初年度の延岡市内から、周辺地域への拡大を目指して取組を進めていくこととしています。</li> </ul>
4	アプリ	<p>アプリによってはタブレットで使えないものもありますがどうなりますか？ちなみに私のタブレットはガラホと同じ携帯会社と契約しているのでショートメールも使えます。</p>	<p>今回の事業で市民の方々に直接ご利用いただくアプリは、「個人の健康データ入力アプリ」のみを想定しております。</p> <p>本アプリについては、iOS、Androidの両方に対応することを想定しておりますが、いただいたご意見を踏まえ、スマートフォンのみならずタブレットでも使用できるよう提案事業者には求めていきたいと考えております。</p>